

平成29年度 第2回

# いわて健康経営アワード

「健康経営」  
って何!?

社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む企業経営のスタイルのことです。

全国健康保険協会(協会けんぽ)岩手支部は、加入者の健康の保持増進を図るため、岩手県、各経済団体、企業等と連携して「いわて健康経営宣言」事業を実施し、健康経営の普及を目指しています。2回目となる「いわて健康経営アワード」で表彰された事業所の取り組みを3回シリーズにして紙面で紹介しています。

いわて健康経営アワード  
の  
優秀賞

～健康づくり推進企業紹介～ Vol.2

(株)三協医科器械 代表取締役社長 千葉 光春  
矢巾町流通センター南1丁目7の7

## 社長自ら資格取得、全員の朝食会も

千葉社長自ら昨年、「健康経営アドバイザー」の資格を取得しました。毎月第3木曜日に社内で開く朝食会の参加率は90%以上。朝食の習慣がなかった若手社員も意識が変わってきたといい、食生活の見直しや運動の機会づくりなど、会社挙げての取り組みが着実に進みます。

社長の「心身とも健康でなければ良い仕事はで

きない」という思いが出発点で、医療分野に携わる企業の責務もあるといいます。朝礼前のラジオ体操で身体を動かせば、自然と体も心も軽くなり、仕事へのスイッチが入ります。

健康診断受診率は100%を達成、受動喫煙の撲滅にも力を入れます。健康経営の理念を社風として根付かせ、受賞も励みに長く継続させたいという意欲が社内にみながざっています。



◀明確な健康経営の理念をお持ちの千葉社長(右)



▶朝食会は大変なコミュニケーションの場にもなります



◀初代からの健康経営を受け継ぐ小野寺社長(右)

▶「いちのせき体操」で心地よい汗を流す社員の方

## ニッコー・ファインメック(株)

代表取締役社長 小野寺 真澄  
一関市千厩町奥玉字天ヶ森75の6

### いちのせき体操や「見え方」チェック

健康診断は見事に受診率100%。同時に産業医から、運動不足を指摘された従業員も多かったのが取り組みの出発点です。

一関市体育協会が普及を目指す「いちのせき体操」の指導を会社として依頼。社員たちが音楽に合わせて汗を流し、心地よいひとときでした。健康づくりや生活習慣病の予防に役立つ体操で、運動の習慣づけの大切さをそれぞれ実感する機会になりました。

従業員入り口には「見え方」チェックのシートを貼り、自分の様子を確認しています。緑内障や脳の異常などは作業効率が落ちるだけでなく、事故発生や重大な変調のサインかもしれません。早期発見を大事に、ストレッチやインフルエンザの予防摂取も重視します。

2代目の小野寺社長は「健康経営は初代社長から大事にしており、業界では進んだ取り組みでしょう」とほほ笑みました。

●次回の優良な取り組み事例は12月27日(水)の紙面で紹介します。

主催/ 全国健康保険協会 岩手支部  
協会けんぽ

盛岡市中央通1-7-25 朝日生命盛岡中央通ビル2階  
TEL 019-604-9009(代)/FAX 019-604-9117

協賛企業/ 橋爪商事社

もりおか タニタ食堂

伊藤園

後援/ 岩手県・岩手県商工会議所連合会・岩手県商工会連合会・岩手県中小企業団体中央会・一般社団法人岩手県経営者協会・一般社団法人岩手経済同友会・岩手労働局・岩手県社会保険労務士会・経済産業省東北経済産業局